

1期 / 1992

1977-1978 Age44



2期 / 1993

1978-1979 Age43



3期 / 1994

1979-1980 Age42



4期 / 1995

1980-1981 Age41



» 5期 / 1996

1981-1982 Age40



» 6期 / 1997

1982-1983 Age39



» 7期 / 1998

1983-1984 Age38



» 8期 / 1999

1984-1985 Age37





» 12期 / 2003

1988 - 1989 Age33



» 13期 / 2004

1989 - 1990 Age32



» 14期 / 2005

1990 - 1991 Age31



» 15期 / 2006

1991 - 1992 Age30



» 16期 / 2007

1992-1993 Age29



» 17期 / 2008

1993-1994 Age28



» 18期 / 2009

1994-1995 Age27



» 19期 / 2010

1995-1996 Age26



» 20期 / 2011

1996-1997 Age25



» 21期 / 2012

1997-1998 Age24





25期 / 2016

2001-2002 Age20



26期 / 2017

2002-2003 Age19



27期 / 2018

2003-2004 Age18



眞藤コーチ、川田コーチ、榎本コーチ、小林コーチ (左から)

» 28期 / 2019

2004-2005 Age17



» 29期 / 2020

2005-2006 Age16



» 30期

2006-2007 Age15

» 31期

2007-2008 Age14

» 32期

2008-2009 Age13



OBから



関根 慶典

この度は、太田ボーイズが創立30年という記念すべき時を過ぎ、この機に記念誌が発刊されますことを心よりお祝い申し上げます。

初代の山本監督と榎野監督（当時コーチ）には、野球の技術的な指導していただいたことは勿論ですが、それよりも野球を通して「人としての生き方」や「人として何が大切なのか」を学ばせていただいたと思っています。

榎野監督は当時から練習や試合に臨む際の「準備」や「取り組む姿勢の大切さ」を話されていました。「週末と祝日しかチームの練習、試合が出来ないのだから、平日の時間をどのように過ごしたら良いか自分で考え準備をする。気持ちを整えてグラウンドに来ること」と話されていたのを今でも思い出します。朝早くからお弁当を作って送迎してくれる両親や硬式野球が出来る環境を整備してくれる人達に感謝の気持ちを忘れてはいけなとも教えていただきました。

OBの誰もが身につけた練習としてベースランニングをあげると思いますが、榎野監督から「ベースランニングが好きな選手なんていない。つらくても、嫌でもやらなくてはいけない大切な事」と言われました。この言葉は、卒団してからも活かしてきました。高校での寮生活、社会に出てからもキツイ仕事と向き合

なければならぬ場面が、何度もありましたが「つらくても、嫌でもやらなくてはいけない大切な事」という言葉を思い出し、乗り越えることが出来ました。大人になっても太田ボーイズで指導して頂いたことが、ベースになっています。仕事に取り組む姿勢や準備、周囲の人への感謝の気持ち（日配り、気配り、心配り）。困難を乗り越える工夫と強い気持ち。人生において大切なことを太田ボーイズと榎野監督から教えて頂いたと思っています。30年前に入団し、榎野監督に会えたことを心から感謝しております。

最後になりますが、この記念誌の作成から発刊に至るまで、大変なご尽力をいただいた関係者の皆様へ感謝申し上げますと共に、今後の太田ボーイズの大きな飛躍を楽しみにしています。（1期 関根 慶典）



2 期
大塚 智

太田ボーイズ発足30周年おめでとうございます。思い出せば私達2期生は太田ボーイズが立ち上がったばかりの頃からおよそ30年の長きに亘り榎野監督にお世話になって参りました。当時の練習はとにかくハードでした。試合直前のアップで既に120%の体力を消耗しつづつづの状態に臨んでいたのを今でも覚えています。しかし不思議なものでそれが当たり前となり体が強くなっていきました。少ない人数で切実な練習できた事は思い出です。今も変わらない太田ボーイズのユニフォームでプレーする後輩達の姿や、各所で活躍する後輩達の姿を聞くとき常に誇らしく感じます。これからも太田ボーイズの皆さまのご発展を心よりお祈り申し上げます。



3 期
原川 天俊

太田ボーイズ発足30年、おめでとうございます。また、30年榎野監督お疲れ様です。監督の野球に対する情熱と選手に対する愛情は感謝いたします。私たちが3期生は、10名と多くはありませんが、各々が役割を理解し行動に移していた結果、太田ボーイズ初の全国大会出場の仕事となっております。結果は1回戦一失点1京投田辺撃退。2回戦は...練習は、悪徳がねんで、バッティングを中心にやっていたが、一番印象的な練習はベースランニングのエンドレス...つづつづつ...雨天練習場での榎野監督の強烈なコントロールされたノック...1つ上の学年の先輩さんが逃げまわっていたのが印象的です。太田ボーイズで学んだことは、社会人になっても役立つことばかりです。後輩の皆さんも、頑張って目標に向かって突き進んでください。



4 期
大島 康徳

太田ボーイズ、発足30周年おめでとうございます。私たち4期生は、8人卒団しました。太田ボーイズの歴史は、また進みました。ある為の根本を榎野監督に教わりました。4期生の言葉として、当たり前の事を高難にせずちゃんとヤル！と燃えながら言い合い練習や試合を頑張っていました。結果を誇る事ができませんでしたが、これからも太田ボーイズの名が、ある限り頑張って野球の楽しさを、学んでいきたいと思っております。今後も応援を期待しています。頑張って、太田ボーイズ！



5 期
平尾 隆明

太田ボーイズ発足30周年おめでとうございます。私たち5期生は大会での終極目標は達成できなかったものの、個性豊かなメンバーと共に野球に打ち込んだ日々、今でも思い出します。当時の練習は大変楽しく、朝早くから暗くなるまで、雨は忘れ、ユニホームは泥だらけ、永遠に終わらないベースラン、土日の練習のみで毎日練習/7/7/7になりました。榎野監督、コーチの方々は野球に対する取り組みの姿勢を学び感謝しております。今でも歴代のキャプテンは移動中のバスの中で榎野監督の隣に座っているのが...卒団して25年たちますが、そのような経験が私生活に活かされています。これからも太田ボーイズの発展と後輩たちの活躍を楽しみにしております。



6 期
荒川 秀法

太田ボーイズ発足30周年、おめでとうございます。格闘監督をはじめコーチ陣また関係者のみなさま、誠におめでとうございます。グラウンドで初めて買った硬式ボールの燃焼や当時の3年生の球体の大きさ、バットに任されたことは今でも鮮明に覚えています。早稲からの遠征や集まり1000部、変わらないバレーや声がかさないと打ってもらえないアメリカンノックなど思い出はたくさん。日々6期生はそれぞれ個性が強く、監督とぶつかることも多々あったように思います。3年生全員グラウンドから外されることもしばしば、その覚悟で話し合ったことを今でも思い出します。格闘監督には野球を通して感謝はもちろんメンタル面での指導をいただき、それは現在に至るまで役立っています。ボーイズリーグも現在はチーム数も増えて期間等でも後輩達の活躍を日々目にするようになりました。太田ボーイズの更なる飛躍を期待しております。



7 期
井田 友和

太田ボーイズ発足30周年おめでとうございます。私たちが7期は格闘監督の指導のもと前では経験のできない野球面、生活面での内容の濃い中学3年制を過ごすことができました。当時の練習はとて厳しく毎週試合になりながら全力で野球に取り組みできたことを命日のことのように思い出します。当時の監督と書かれていた格闘監督を倒して上原監督に代わって練習できたこと、そのとき初めて主将をやったことがあったこと、一番の喜びでした。これも監督がずっと書かれていた最後まで諦めない気持ちのおかげだと思っています。今、中学3年生の頃にも格闘監督の指導を受けております。第32代格闘監督に出会えたこと、指導受けられることを本当に感謝しております。格闘監督大御所です。諦めない気持ちと全力プレー、太田ボーイズの更なる飛躍と後輩たちの活躍をたのしみしています。



8 期
刈田 大樹

太田ボーイズ30周年記念誌の発行おめでとうございます。格闘監督をはじめ、歴代の関係者に深く感謝いたします。人生や野球の結果は「考え方」「練習」「能力」3つの要素があり、掛け算で決まると思います。自分の能力を真にかけ努力を怠った人より、自分には大した能力はないと認めて謙虚にも情熱を燃やして努力した人のほうが、すばらしい結果を推します。ここに生きる姿勢である「考え方」が弱いため、わずかながりの否定的（マイナス）な考え方であっても、結果はマイナスになります。能力や練習とともに、正しい考え方もつことが重要で、大人になった今でも大切なことを学ばせていただきました。太田ボーイズのさらなる飛躍を心より願っています。



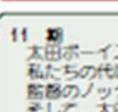
9 期
中野 辰則

太田ボーイズ発足30年、おめでとうございます。振り返ると色々な思い出がありますが、当時の練習は大変厳しくて毎週試合だらけになりながら全力で野球に取り組みしていたのは良い思い出です。野球への取り組み方や考え方を太田ボーイズで学び、私たちの学年では高校、大学、社会人野球でも活躍することができました。卒団して20年以上たちますが今でも太田ボーイズで野球を学んだ事を誇りに思います。これからも太田ボーイズの伝統の継承と進化、後輩たちの活躍を楽しみにしています。



10 期
半田 健一

太田ボーイズ発足30年、おめでとうございます。私達の学年は好成績を残すことは出来ませんでした。関東ボーイズリーグ大会で福岡ドリームに勝利した試合はとて印象に残っています。当時を振り返ると、練習はとにかく厳しく、毎週クタクタになりながら自転車で帰っていたことを思い出します。全力疾走や全力の声出しは太田ボーイズで学んだことが出来、その後の高校野球でも自分の強みとなりました。格闘監督をはじめスタッフの皆様には心から感謝しています。太田ボーイズの更なる飛躍と後輩たちの活躍をこれからも楽しみにしています。



11 期
荒川 秀法

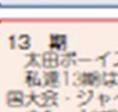
太田ボーイズ発足30周年おめでとうございます。私達の代はすごい選手もすごい成績も残すことは出来ませんでした。ですが、毎週楽しい練習をして頂きました。監督のノックは本当に上手かった!!ベランはキツかった。そして、太田ボーイズを通して沢山の仲間に出会えたことが出来た。監督、コーチ、OBの先輩方そして最高の仲間です。太田ボーイズでは野球以外のことも礼儀、挨拶、返事、多くのことを学ばせて頂きました。今でも、太田ボーイズで野球をやれたことを誇りに思っています。今後のさらなる太田ボーイズのご発展とご活躍を心より応援してしております。

11期一同



12 期
刈田 大樹

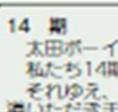
太田ボーイズ発足30周年おめでとうございます。私たち12期は個性豊かなメンバーが集まり、試合の勝負どころでは一気にかつめられる、そんなチームでした。中でも印象に残っているのは、関東ボーイズリーグ大会の初戦、2アウトランナー無しからの逆転サヨナラ勝ち。あの勝利から勢いづき優勝、そして初のジャイアンツカップベスト8。最後まで諦めないことと道が開けること、この経験は人生の財産であり、今の営業の仕事でも活かしています。諦めない心と全力のプレー、太田ボーイズの伝統をこれからも続けていってほしいと思います。



13 期
荒川 秀法

太田ボーイズ発足30年、おめでとうございます。私達13期は格闘監督のご指導の下、春・夏の全関東大会・ジャイアンツカップに出場させて頂きました。夏の全関東大会・ジャイアンツカップ共にベスト8という成績を残すことができ、今でも当時の記憶が鮮明に蘇ります。また、13期では関東北栄天ゴールデンアイーグルスの同僚選手の出身期でもあり、今後、野球界で活躍する選手が出る事を願っております。最後になりますが、太田ボーイズは「全力疾走」をモットーに、攻守交際の速さは全国で一番だと13期一同自負しておりますので、後輩達にも「全力疾走」をモットーに全力プレーで活躍して頂きたいと思っております。

13期一同



14 期
刈田 大樹

太田ボーイズ30年、誠におめでとうございます。私たち14期は所属人数が約20人の大所帯でした。それゆえ、個性も強くまとまりのない部分もありましたが、格闘監督のもと毎日厳しく時に優しくご指導いただきました。特に代名詞とも言える「ベラン」はどの期よりも沢山走らせていただいたのではないかと思います。これからも太田ボーイズらしく、元気よく楽しく全力疾走で活躍して頂きたいです。

14期一同



15 期
天海 貴裕

太田ボーイズ発足30年おめでとうございます。
この歳をお送りしまして横野監督はじめ、長年に亘り太田ボーイズを支えて頂きましたスタッフの皆様
に感謝申し上げます。
私自身、太田ボーイズで学ばせて頂いたことがその後の野球人生の土壌となり、高校野球、大学野球ま
で継続できた要因となっております。
また、当時一瞬に切離された仲間が一生の財産となり、社会人になった今もお付き合いをさせて頂い
ております。
現在はコロナ禍の中で満足に活動が出来ないことも多々あるとは思いますが、そのような環境でも居る
ことなく突き進んでほしいと思います。
今後とも太田ボーイズの活躍を期待しております。



16 期
原内 拓也

太田ボーイズ発足30年、おめでとうございます。
太田ボーイズでは野球の事はもちろん、人としても、とても成長する事が出来ました。
横野監督をはじめコーチの方々やOBの先輩方にも色々教えて頂きました。
今でも太田ボーイズで培った事は仕事にも私生活にも活かしていると思います。
練習では一人一人に分かりやすく、時には全体を止めて全員に、全体から外して個別で
など、思い返せば感謝しかありません。
「全力疾走」をモットーに今後も太田ボーイズの伝統と発展、後輩たちの活躍を楽しみに
しています。



17 期
廣瀬 将貴

太田ボーイズ発足30年おめでとうございます。17期一団、輝かしい節目の年に関係者として携
わることができ、大変光栄に感じております。
私たち17期は、突出した選手がいるわけでもなく、その上、勝負強さを発揮できるような精神
力もない情けないチームであったと感じています。ですが、横野監督のご指導の下日々成長を重ね、
特に各々が考えた「自己顕示」を常々発声することにより大きく成長できたと思っております。
山崎の「I LIKE BASEBALL!!」や巨木の「アーメン!!」はチーム全体がまとまる各言葉になっ
たことが強く印象に残っております。
これからも太田ボーイズの後輩たちのご活躍を楽しみにしています。



18 期
矢野 剛士

設立30周年、誠におめでとうございます。
卒団から約10年が経過した今でも、太田ボーイズでの経験は鮮明に思い返されます。
常に全力を出す事、グラウンドにすら入れなかった日、中々終わらない走塁練習など、苦しかっ
た記憶がほとんどですが、振り返るとどれも自分の成長の糧になっているとわかります。太田ボー
イズでの野球を通して、「物事に取り組む姿勢」や「考える力」、「自主性」が自然と身につく、野
球だけではなく、人間的にも成長することができた日々でした。後輩たちにも、太田ボーイズで
の3年間を、全力で楽しんでほしいです。
今後40年、50年と太田ボーイズの伝統が継ぎ、後輩たちが益々活躍されることを願ってい
ます。



19 期
有馬 昂己

太田ボーイズ発足30年、おめでとうございます。
19期の集名写真は、群馬ダイヤモンドペガサス杯で優勝した頃の写真です。初戦から素晴らしい
いきなりでした。しかし、チームの各言葉でもある、全力の声、全力のダッシュなど、最後まで
諦めずにプレーした結果、優勝することができました。
ボーイズ卒団後も、現在もプロ野球で活躍している福岡ソフトバンクホークスの岡本選手をは
じめ、高校野球で活躍した選手も多かったです。そんな選手たちと野球ができたこと、そしてチ
ームのキャプテンとして率いることができたのは、今でも私の誇りです。
これからも太田ボーイズに携わる皆さんの活躍を楽しみしております。



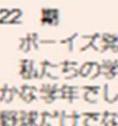
20 期
平田 一輝

太田ボーイズ30周年記念誌の発行おめでとうございます。私は佐野日本大学高等学校で理科教師とし
て働いています。20期生は5人という少ない人数でしたが、このメンバーだったからこそ、楽しい練習
をやり続けることができました。「全力の声、全力疾走、全力の力（パワー）」、この各言葉が鮮明に思い
起こされます。正直、心が折れそうになったこともありました。しかし、そこで諦めず、立ち向かっ
たことで「自信」になり、今でも心の支えになっています。後輩の皆へ、「知るは好むに如かず、好む
は楽しむに如かず」、お子の指導の言葉にもあるように大好きな野球を楽しんでほしいです。プレーしていただき、もち
ろろん、時には辛いこともありますが、乗り越えた先に素晴らしい景色が待っています。感謝の気持ちを
おれず、夢や目標に向かって頑張ってほしい。結びに、熱心にご指導くださいました横野監督をはじ
め、コーチ、OBや関係者の皆様にも感謝申し上げますとともに、太田ボーイズの皆さまのご活躍を心よ
り祈っております。



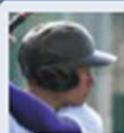
21 期
藤家 輝

太田ボーイズ30周年おめでとうございます。
中学時代の3年間を太田ボーイズで過ごしたことによって、得られた強い精神力
が社会人となった今でも、生かされています。
いまだに、中学3年間の太田ボーイズでの思い出は色濃く残っています。
今後の太田ボーイズの更なるご活躍を応援しております。



22 期

ボーイズ発足30年、おめでとうございます。
私たちの学年は身長が大きい選手や小さい選手、真面目な選手や少しやんちゃな選手など個性豊
かな学年でした。太田ボーイズでは三原則をはじめ準備の大切さや自ら主体的に行動することなど
野球だけでなく社会に出てからも通じることを学びました。これからも太田ボーイズの後輩たち
のご活躍を陰ながら応援しています。



24 期
加藤 晴茂

太田ボーイズ発足30年、おめでとうございます。自分達の代は特に体力面ではなく、精神面で鍛えられたと思います。もちろん体力面できつい場面も何度もありましたが、ミーティングの重要性を教えていただきました。周りへの目配り・気配り・心配りなど色々な事教えていただき、太田ボーイズを卒業して高校、大学までとても活かされています。これからも太田ボーイズの後輩たちの活躍を楽しみにしています。



25 期
澤川 真太

太田ボーイズ発足30周年おめでとうございます。細かく言い合うミーティング、正しく分からない監督の怒、バスの中では副キャプテンの新井と恐怖する日々でした。今になれば監督の怒も物凄く理解でき、物凄く大切なことを教わったと日々実感しています。一番印象に残った試合は高崎ボーイズと戦い、一球のミスで負けた試合です。一球の差、監督が言っていた練習での「こだわり」の大切さを身に染み込ませた試合でした。監督の怒もこれらの経験も平穏してから日は強いですがとても活かされています。これからも太田ボーイズのご活躍を心より応援しています。



26 期
中村 遼矢

この日は太田ボーイズが多くの汗の涙かいご支援と厚手の下で30周年を迎え、これはと長くの歴史と発展を重ねられ、その一員としてここで学び育った事に幸26期卒生一同、感謝とお祝い申し上げます。
私の6期卒生は私を含め3人のメンバーがいて、現在は一人が就職後は大学に進学してそれぞれの道を歩んでいます。自ら考え行動し、主体的に選択する彼らの現状に、刺激を受けることも、自分も彼らの刺激、支えにならばいいなと考えています。彼らと当時を振り返り話を聞くと、全力でバレーリング、ベンチワークの重要性に気づいたり、考えて行動することが多くなり変化を実感しているようです。私の現状はというと、東京大学への進学を目指してはいたのですが、専攻の入学に落ち、現在は東京理科大学で勉強しながら東京大学を目指してあります。私も彼らと同じように全力を出す大変さと重要性を感じた卒業です。
私もあの3日間を振り返ると様々なことが思い返されますが、今の私に強く思い返されたのは「このチームのいいところはOBが戻ってきてくれるところだ。」という当時の榎野監督の言葉でした。私達が思われたように指導を受けられたのは先輩方の経験を受け継ぐ伝統のおかげだったと、改めて気づくことができました。
私の経験はまだ未熟な部分ではありますが、伝えたいと思ったことは、自らの考えを大事にして全力でトフアンドエワーを繰り返してほしい、ということです。
結びにはなりますが、監督を始めコーチの方々、父兄の皆さん、今も太田ボーイズに携わるOBの方々に感謝を申し上げますとともに、太田ボーイズに所属する在校生の活躍を願って私達の言葉といたします。

現役選手へ ～私の経験～ 川岸 佑多 (12期)



太田ボーイズ30周年おめでとうございます。
私の野球人生の中で最も思い出深く、夢に満ち溢れていた時期。それが太田ボーイズでの3年間でした。
その中で「恩師」=榎野監督との出会いは人間として野球人としてひと回りもふた回りも大きく育てて頂きました。
榎野監督は厳しい雰囲気、野球に対してすごく情熱のある人。野球が上手い下手ではなく各選手の個性を引き出し、色々な角度からチームを見る視野の広さ。時には試合中に魔法をかけられたかのように榎野監督の言葉が現実になる。そんな夢のような、奇跡のような試合を何度も経験し、気が付けば東日本ボーイズリーグ大会、関東ボーイズリーグ大会を制し、ジャイアンツカップ初出場を決めていました。

それから私は高校に進学し、野球を続ける上で挫折しそうな時、思い浮かぶのは榎野監督から頂いたたくさんの言葉でした。どんな壁も乗り越え甲子園にも出場する事ができました。かけがいのない宝物を築き上げてくれた榎野監督に感謝しかありません。
最後に後輩達に伝えたいことは、
1. 野球が大好きなこと
2. 素直な気持ちを持つこと
3. 榎野監督を信じ抜くこと
スローガンはこれから野球を続けていく上で永遠に大切な事だと思えます。

チーム一丸となって、太田ボーイズの歴史にまた新たな1ページを刻めるように頑張ってくださいませ！！
期待しています。



川岸佑多の祖父 石田善徳さん
自宅には、たくさんの写真がある。
12期の卒業式にも参加した。

白球の詩

大病超え「夢舞台」で歓喜

現役第一 川岸 佑多 外野手

川岸 佑多 (12期) は、太田ボーイズで活躍し、ジャイアンツカップ初出場を決めた。現在は高校に進学し、野球を続ける中で挫折しそうな時、思い浮かぶのは榎野監督から頂いたたくさんの言葉。どんな壁も乗り越え甲子園にも出場する事ができました。かけがいのない宝物を築き上げてくれた榎野監督に感謝しかありません。